

第49号

2016年8月10日発行(平成28年)

# 佐渡 市議会だより



■発行：佐渡市議会

■責任者：岩崎隆寿

◆編集：議会報編集特別委員会

●〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地

●☎0259-57-8133

●HP：[https://www.city.sado.niigata.jp/c\\_council/](https://www.city.sado.niigata.jp/c_council/)



第22回 全国棚田(千枚田) サミット 離島で初開催(7月14日~15日)

## 6 月定例会

定例会の主な審議事項	2	議案等(審議結果)一覧	14
代表質問・一般質問 ココが聞きたい	4	平成27年度政務活動費の実績	15
要望・意見に対する市の対応状況	12	議会の動き・行政視察の受入状況	16

# 3件、その他の議案17件を可決

## ◆平成28年度一般会計補正予算を可決

予算総額を449億3千380万2千円とすることを認めました。

### ① 一般会計予算の歳入歳出にそれぞれ3億6千726万円を追加

主な内容は、支所・行政サービスセンター庁舎整備事業を2億8千250万円増額するほか、地域おこし協力隊起業支援補助金300万円を予算計上するものです。

なお、総務常任委員会が、次の意見を付けました。

#### 意見 継続費補正について

当該補正は支所・行政サービスセンター庁舎整備事業について、両津支所整備事業を追加するため総額を8.8%増額するものであるが、継続費の総額を安易に増減すること自体が異例である。そもそも支所・行政サービスセンター庁舎整備事業として複数の庁舎整備を一括し継続費の設定を行っているが、このことにより庁舎間における経費の流用が可能となっており、予算議決による議会の統制から逃れようとするものと指摘せざるを得ない。継続費は単年度予算主義の原則の例外をなす

ものという本来の主旨に立ち返り、今後の継続費における事業の設定については細心の注意を払うこと。

#### 意見 地域おこし協力隊起業支援補助金について

本委員会に提示された補助金交付要綱案は、制度の主旨からして厳しい交付要件を付しているものと思料する。については、今後予定されている市の補助金交付事務の見直し及び事業実施状況の確認を行った上で、実態に見合う補助金交付要綱とするよう検討されたい。

### ② 一般会計予算の歳入歳出にそれぞれ904万2千円を追加

内容は、個別外部監査業務委託料250万円の予算計上及び国民健康保険税の本算定に伴う特別会計繰出金654万2千円を増額するものです。

## ◆平成28年度佐渡市国民健康保険特別会計補正予算を可決

### ○ 国民健康保険特別会計予算の歳入歳出にそれぞれ2億1千900万円を追加し、予算総額を80億1千800万円とすることを認めました

内容は、国民健康保険税の本算定等に伴う、本年度の医療費の動向による保険給付費の減額、各支払額の確定による所要額の計上並びに前年度精算に伴う国庫償還金及び一般会計繰出金の計上です。

なお、社会文教常任委員会が、次の意見を付けました。

意見 医療費の伸びを慎重に見極めて、保健事業の取組強化による医療費抑制に対する努力を求める。

## 4月28日開催 第3回(4月)臨時会 ★予算案1件、その他の議案10件を可決

### ◆平成28年度佐渡市一般会計補正予算を可決

### ○一般会計予算の歳入歳出にそれぞれ5千750万円を追加し、予算総額を445億5千750万円とすることを認めました

内容は、平成27年12月に発生した冬季風浪災害に係る災害復旧経費を計上するものです。

6月14日～30日開催

第4回(6月)定例会

# ★条例案5件、予算案

## ◆定例会の主な審議事項

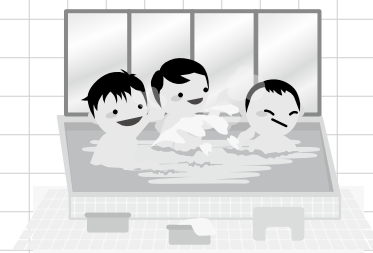
### ① 佐渡市外部監査契約に基づく監査に関する条例を制定しました

監査委員による監査に代えて、個別外部監査契約に基づく監査の実施を可能とするため、佐渡市外部監査契約に基づく監査に関する条例を制定しました。

### ② 佐渡市入湯税条例の一部を改正しました

学校教育法が改正されたことに伴い、修学旅行等の際の入湯税の課税免除の対象校に義務教育学校<sup>(※)</sup>を加えるため、佐渡市入湯税条例の一部を改正しました。

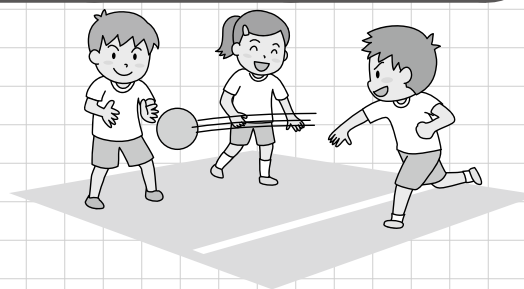
※義務教育学校…学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う新たな学校の種類として規定された。



### ③ 佐渡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正しました

学校教育法が改正されたことに伴い、佐渡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正しました。

主な内容は、学校の種類に義務教育学校が追加されたため、放課後児童支援員に義務教育学校の教諭となる資格を有する者を追加しました。



### ④ 佐渡市国民健康保険税条例の一部を改正しました

国民健康保険被保険者の前年所得の確定等により行った本算定の結果を受けて、保険税の税率を改めるため、佐渡市国民健康保険税条例の一部を改正しました。

### ⑤ 佐渡市職員定数条例及び佐渡市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正しました

平成28年度から簡易水道特別会計に係る事業を水道事業会計に移行したことに伴い、佐渡市職員定数条例をはじめとした関係する条例の一部を改正しました。

### ⑥ 個別外部監査契約に基づく監査によることについて

平成24年度離島流通効率化事業における補助金不正事案に係る補助金交付事務手続きの分析等を行い、市における現行の補助金交付事務手続きを評価し、本来あるべき補助金交付事務のあり方及び適正な補助金交付事務の汎用規準の方向性についての提言を求めるため、監査委員の監査に代えて個別外部監査契約に基づく監査を実施することについて決定しました。

6月定例会においては、1会派が代表質問、14人の議員が一般質問を行い、市政について質しました。本コーナーでは、その要旨を、議員の寄稿により掲載しています。



### 代表質問・一般質問



# ココが聞きたい!!

## 代表質問

◆ 新生クラブ 佐藤 孝 議員 …… 4  
◆ 平成28年度所信表明について問う

## 一般質問

- ◆ 金田 淳一 議員 …… 5  
◆ 市庁舎建設の方向性について質す
- ◆ 山田 伸之 議員 …… 5  
◆ 防災減災対策の強化と子育て支援課の設置を
- ◆ 北 啓 議員 …… 6  
◆ 保育園の園庭駐車について
- ◆ 宇治 沙耶花 議員 …… 6  
◆ 全ての子どもたちの放課後を充実させるべき
- ◆ 祝 優雄 議員 …… 7  
◆ 緊急事態対応について
- ◆ 大森 幸平 議員 …… 7  
◆ 三浦市長に「佐渡未来プロジェクト」を問う
- ◆ 高野 庄嗣 議員 …… 8  
◆ 佐渡の将来を良くするためには今何が必要か
- ◆ 中村 良夫 議員 …… 8  
◆ 学校給食費を無料に 当面半額に
- ◆ 渡辺 慎一 議員 …… 9  
◆ 新市長の所信をただす
- ◆ 中川 直美 議員 …… 9  
◆ 選挙結果に示された市民の期待に応える市政へ
- ◆ 室岡 啓史 議員 …… 10  
◆ 「佐渡アイランド集落ツーリズム構想」の実現に向けて
- ◆ 荒井 眞理 議員 …… 10  
◆ 新市長の政策、市の様々な問題について見解を問う
- ◆ 猪股 文彦 議員 …… 11  
◆ 将来世代のために、力強い行政改革の推進を
- ◆ 近藤 和義 議員 …… 11  
◆ 市民のために 本庁舎建設の早期着工を

## 新生クラブ 代表質問

### 平成28年度

### 所信表明について問う

佐藤 孝 議員



**【質問】** 本庁舎建設に関し、市長は選挙当時から見直しを掛けたいと話をしてい

る。平成28年度の当初予算にも1億1千万円計上され、議会も通っているが、大幅な見直しとなると合併

特別債が間に合わなくなる。少々の見直しをしても東日本大震災や熊本地震の

教訓を踏まえ、現在のスケジュールで行うべきだが。

**【市長】** 新市庁舎の建設については、華美な部分や無駄な機能がないか、工事費の削減が可能かどうかなどについて検証を行う。なお、合併特別債が使えない場合は、行政庁舎建設基金を計画的に積み立てていくことになるが、その部分を含めて現在スタートした検証作業を早い時期に終えて、報告を踏まえ9月の定例会において説明させていただ

たい。

**【質問】** 農林水産業の再生計画の策定とあるが、具体的なビジョンや活性化策はあるのか。

**【市長】** 佐渡の農業は既に環境ブランド化が進むコメに加え、野菜など園芸作物の地産強化を進め、複合型経営化による地場産業の強化を図ることが重要。佐渡の強みである環境ブランドをさらに強化し、顧客のターゲットを明確にした販売戦略を推進していくことで、強い農業モデルを構築していきたい。

**【質問】** 佐渡金銀山世界遺産登録に向けて受入態勢が重要である。一番大切なのは宿泊施設の受入態勢であると思うが、それなりの施策はあるのか。また、外航クルーズ船の誘致について、港湾整備を早急に着工でき

るよう強く県に要望すべきだが市長はどのように考えているのか。

**【市長】** お客様のニーズが多様化している現在、今後リーダーにならなければならない。各宿泊施設それぞれが、何ができて、どこまでできるのかを考える時期に来ているのではないかと思う。港湾計画については18年ぶりに両津港・小木港の大幅な港湾計画の見直しが行われた。これらの計画が一日も早く実現するよう、スピード感を

もって国や県に強く働きかける。

